



私たちは、持続可能な開発目標  
(SDGs)を支援しています。

# 2024 環境経営レポート

対象期間

2024年10月1日～2025年9月30日

発行日

2025年11月10日



松井開発運輸株式会社

# 環境経営方針

## 環境経営理念

当社は、建設業・廃棄物収集運搬業および、貨物自動車運送事業を通じて、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、環境への取り組みを積極的に推進し、全員が継続的に改善することで、持続可能な地域の発展に寄与します。

## 環境経営目標

- 1 法規制及び、当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
- 2 以下の活動を継続的に取り組み、環境負荷低減に努めます。
  1. 二酸化炭素排出量の削減
  2. 廃棄物排出量の削減、再資源化率向上
  3. 水使用量の削減
  4. 環境に配慮した工事の採用と運行管理
  5. 地域貢献活動
- 3 取引先、地域住民、従業員などステークホルダーのみなさまと積極的にコミュニケーションをはかり、課題とチャンスを明確化し、社会の要請に応じた企業価値の向上に努めます。
- 4 SDGs活動を積極的に推進します。

【SDGs17のゴール】の内 当社の取組と紐づけされる目標



本方針を全社員に周知徹底し、外部へも公開します。

2008年4月1日 制定

2021年4月1日 改定

松井閑癸運輸株式会社  
代表取締役 松井章博

## 組織の概要

会社名 松井開発運輸株式会社  
代表者 代表取締役 松井章博  
所在地 〒656-0332 兵庫県南あわじ市湊1354番地  
設立 昭和63年2月22日  
資本金 2,800万円  
事業年度 10月1日から翌年9月30迄  
売上高 885百万円(令和7年9月末決算)  
社員数 35名

EA21認証・登録日 2008年12月8日

対象事業所 本社・事務所

事業活動 総合建設業及び解体工事業、一般貨物自動車運送事業  
一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、土木建築資材販売業

EA21事務局 環境管理責任者 運輸部長

TEL 0799-36-5078 /FAX 0799-36-5515

URL <http://www.matsui-kaihatsu.com>

【アクセス】神戸淡路鳴門自動車道 西淡三原インターから車で6分  
西淡三原I.C出口を直進、湊交差点を左折し、「湊港入口」を左折  
湊郵便局を右折し、2ブロック目を左折するとすぐ右側です。

## 事業活動の推移

活動年度		2022年度	2023年度	2024年度
項目		(2022年10月～2023年9月)	(2023年10月～2024年9月)	(2024年10月～2025年9月)
総売上高	百万円	1,046	921	885
内工事高	百万円	310	269	416
社員数	人	37	36	35
本社延床面積	m <sup>2</sup>	330	330	330
敷地面積	m <sup>2</sup>	7,255	7,255	7,255
貨物輸送量	t	28,070	24,512	24,063
産廃収集運搬量 (コンクリート、アスファルト、その他)	t	5,471	4,901	11,276
一廃収集運搬量 (可燃ゴミ、カン、ビン等)	t	2,081	2,044	1,933
碎石販売量	t	15,401	12,933	17,252
工事施工件数	件	49	58	61

## 許可内容

特定建設業許可 許可番号	許可年月日	許可有効期限
兵庫県知事（特-7）第801290号	令和7年7月2日	令和12年7月1日
建設業の種類	土木、建築、解体、舗装、大工、左官、とび・土工、石、屋根 タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、しゅんせつ 板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設	

産業廃棄物収集運搬業許可番号		許可の年月日	許可の有効期限
兵庫県	第2809019659号	令和元年5月18日	令和11年5月17日
徳島県	第3600019659号	令和3年6月28日	令和8年6月20日

許可品目	燃え殻	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性 残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	銀使用製 品
兵庫県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
徳島県			●	●	●	●			●	●		●		

一般廃棄物収集運搬業許可番号 (事業系及び家庭系)		許可の年月日	許可の有効期限
南あわじ市	南あ廃収運第4-2号	令和6年4月1日	令和8年3月31日

一般貨物自動車運送事業	許可年月日
事業者番号 第640000433号	昭和63年1月26日

各種工事（土木・建築・解体）、廃棄物収集運搬  
 一般貨物輸送運賃など、各種お見積りは無料です。  
 お気軽にお問い合わせください。

TEL 0799-36-5078

## 車両・建設機械・資格保有状況

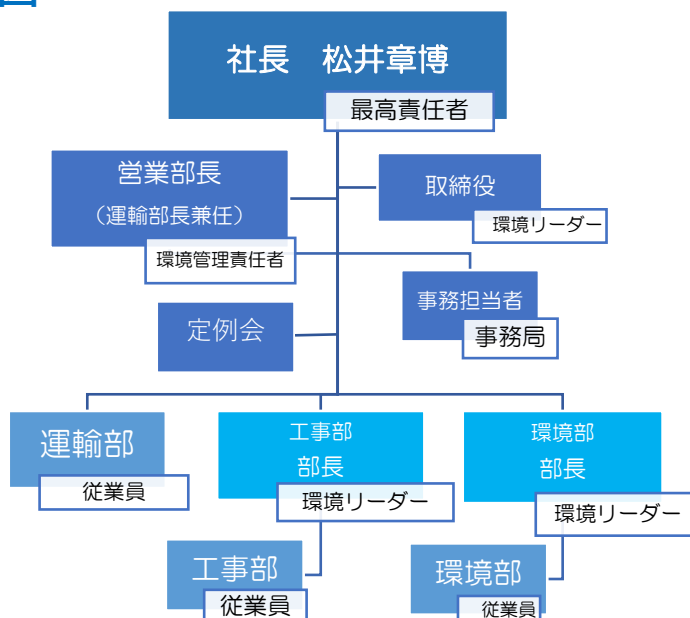
貨物輸送車		環境負担軽減対策		
15t 冷蔵冷凍車	10 台	①エコドライブ管理システム ・安全運転の警告を音声で行う ・自身の運転状況をディスプレイで確認 ・運転技能（安全・エコ）をA～Eで評価 ②建設機械 省エネ運転支援 ・GPSで位置情報、稼働情報をITで管理 ③超低騒音・排ガス対策型 建設機械 ④エコタイヤ ⑤蓄熱マット、蓄冷エアコン ⑥NOx・PM適合車 ⑦速度抑制装置 ⑧衝突被害軽減ブレーキ車 ⑨平成28年騒音規制車 ⑩平成27年度燃費基準10%向上達成車		
2t バン	1 台			
2t 平ボディー車	1 台			
廃棄物収集運搬車				
10t ダンプ	8 台			
10t 回送車	1 台			
3t ダンプ	3 台			
2t ダンプ	3 台			
2t パッカー車	4 台			
4t ダンプ	1 台			
4t コンテナ専用車	2 台			
コンテナ (6m <sup>3</sup> ・8m <sup>3</sup> ・12m <sup>3</sup> )	34 基			
ダンプ仕様コンテナ	2 基			
回送用荷台	2 基			
散水用タンク	1 基			
建設機械		(各種アタッチメント)		
バックホウ	15 台	つかみ機・ブレーカ・鉄骨カッター 圧砕機（大割・小割）		
トラクターショベル	1 台			
フォークリフト	3 台			
		給油取扱所		
		軽油：30キリットル 大規模災害時には、全日本トラック協会からの要請に基づき緊急輸送車両へ優先的に燃料の供給を行います。		
資格保有状況				
1級土木施工管理技士	1 名	地山・土止め支保工作業主任者	6 名	
1級建築施工管理技士	1 名	コンクリート造の解体等作業主任者	8 名	
2級建築士	1 名	石綿作業主任者	6 名	
監理技術者	1 名	足場の組立等作業主任者	4 名	
2級土木施工管理技士	1 名	木造解体作業指揮者	4 名	
2級建設機械施工技士	2 名	不整地運搬車運転技能講習	4 名	
解体工事施工技士	2 名	高所作業車運転技能講習	3 名	
運行管理者	5 名	ガス溶接技能講習	8 名	
整備管理者	1 名	玉掛け技能講習	12 名	
危険物取扱者（乙種4類）	2 名	小型移動式クレーン運転技能講習	11 名	
車両系建設機械運転技能講習	19 名	ガルパ型安全帯特別教育	3 名	
フォークリフト運転技能講習	26 名	ダケノコ対策に係る特別教育	6 名	
特定化学物質等作業主任者	3 名	大径木伐採等(フェソ)特別教育	4 名	
鉄骨の組立等作業主任者	8 名	移動式クレーン運転免許	1 名	
型枠支保工の組立等作業主任者	6 名	大型免許	31 名	

## 当社の取組と紐づけされるSDGsの目標



当社の取組とSDGsのゴール		3	4	6	7	8	11	12	13	14	15	17
CO2 排出量 削減	軽油	エコドライブ（デジタル運行管理システムを活用）			○		○		○			
		運転適性診断で運転技術を可視化し、個別指導を行う		○			○		○			
		車両、重機の自主点検整備を徹底	○					○		○		
		現場への人員・資機材の運搬を効率よく行う	○					○		○		
		運行ルートの効率化と帰り荷の確保	○					○		○		○
		エコタイヤ・蓄熱マット・蓄冷エアコン	○			○		○		○		
		平成27年度燃費基準10%向上達成車						○		○		
	電気	エアコンは、設定温度（暖房20度・冷房27度）で使用				○				○		
		照明のLED化				○				○		
		換気、二重サッシやブラインドによる光量や室温の調整				○				○		
PC、コピー機は、省エネモードに設定					○				○			
廃物削減・分別リサイクル	一般廃棄物	ゴミの分別とリサイクルを促進						○			○	
		物品の購入は必要最低限を計画的に						○			○	
		簡易包装の商品を選択							○			○
		トナーカートリッジの回収・再利用							○			
		両面印刷、裏紙を利用する							○			○
		書類や印刷設定を確認しミスコピーを減らす							○			
	産業廃棄物	電子データの活用により、紙書類の軽減							○			○
		委託契約書を交わし、マニフェストによる管理							○			
水使用量の削減	全水道に、「節水」表示をする			○								
	漏水の点検			○								
	洗剤の使い過ぎに気を付ける			○						○		
	ノズルの開閉をこまめにする			○								
環境に配慮した工事と運行管理	超低騒音・低振動対策型建設機械の使用	○					○					
	低排出ガス対策型建設機械	○					○					
	尿素SCRシステム搭載車	○					○					
	解体工事の近隣住民への告知	○					○				○	
	リサイクル製品の活用、販売							○				
	散水により土埃の低減	○										
地域貢献活動の推進	地域ゴミステーション内コンテナの整理・整頓						○	○			○	
	公共施設愛護活動（河川・港湾の清掃）	○		○			○			○	○	
	交通安全パトロール車による呼びかけの実施		○				○				○	
	環境キャンペーン活動参加	○	○				○	○	○		○	
	子ども見守り110番	○					○				○	
	災害応急対策業務協定の締結						○				○	

## 実施体制組織図



### EA21システムの役割・責任・権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①エコアクション21運用の最高責任者</li> <li>②経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>③環境経営方針の策定</li> <li>④実施体制を構築し、各自の役割、責任、権限を定める</li> <li>⑤運用、維持するための経営資源を用意する</li> <li>⑥全体の取組状況及びその効果の評価と見直し、指示を行う</li> <li>⑦環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営目標、環境経営計画の策定</li> <li>②環境経営レポート、目標設定書などの文書を審査</li> <li>③環境への取組に関する教育・訓練の実施</li> <li>④外部コミュニケーションの窓口</li> <li>⑤定例会において運用状況を報告し、必要な指示を行う</li> <li>⑥社長への取組結果の報告</li> <li>⑦環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各部門の環境経営目標と計画の具体的内容を周知する</li> <li>②各部門における取組を推進し、状況の確認と評価を行う</li> <li>③評価の結果、問題点を発見し再発防止の為に是正措置を行う</li> <li>④定例会において部門で発生した問題の状況を報告する</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文書類(案)の作成と管理、EA21諸手続きと窓口</li> <li>②環境関連法規制一覧表の最新化と遵守状況の確認</li> <li>③各部門の計画及び実施状況の把握、実績の集計</li> <li>④環境管理責任者の補佐</li> <li>⑤環境経営レポートの作成</li> </ul>
定例会	<p>参加者： 社長、環境管理責任者、各部門環境リーダー</p> <p>環境経営システムの維持・運営に関し必要な事項の協議を行う</p>

# 環境経営目標

## 中期目標と2024年度実績

取組項目	単位	中期目標				
		年度※4	2024	2025	2026	2027
		基準値	目標	目標	目標	目標
<b>1 CO2排出量削減</b>	t - CO2	1,542	1,534	1,527	1,519	1,511
車両燃料 使用量の削減 (効率化) ※3	大型ダンプ	2.72	2.72以上	2.72以上	2.72以上	2.72以上
	大型冷蔵車	3.71	3.71以上	3.71以上	3.71以上	3.71以上
	2tダンプ バックホー車	6.05	6.05以上	6.05以上	6.05以上	6.05以上
電力使用量削減	kWh	20,770	20,666	20,562	20,458	20,355
<b>2 廃棄物再資源化率向上</b>	%	再資源化率 96.5%以上	再資源化率 96.5%以上	再資源化率 96.5%以上	再資源化率 96.5%以上	再資源化率 96.5%以上
<b>3 水使用量の削減</b>	m <sup>3</sup>	586未満	586未満	586未満	586未満	586未満
<b>4 環境に配慮した工事の採用と運行管理                      受託した廃棄物の収集運搬業における                      環境に配慮した取組の推進</b>	環境に配慮した工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音・排ガス対策型建設機械の使用</li> <li>・低排出ガス車の使用</li> <li>・リサイクル製品の販売</li> <li>・散水により土埃を抑制</li> <li>・工事の近隣住人への告知</li> </ul>				
	環境負荷の少ない運行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両整備の徹底</li> <li>・エコドライブの徹底（運転適性診断と考察）</li> <li>・運行ルートの効率化</li> </ul>				
	受託廃棄物収集運搬時における環境に配慮した取組推進					
<b>5 地域貢献活動</b>	地域貢献活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川・港湾の清掃</li> <li>・一廃回収区域のごみ3ヶ所整理整頓</li> <li>・地域安全まちづくり活動（子育て応援協定締結）</li> <li>・環境キャンペーン活動</li> <li>・交通安全パトロール活動</li> </ul>				
	環境負荷への予防措置					
<b>課題とチャンスの明確化</b>	〈採用活動の推進・多能工の育成〉 1. HPIに採用情報を掲載 2. 技能実習生採用 3. 技能講習、資格取得計画の推進					

※1：電力の排出係数は、関西電力R4年度の調整後排出係数0.434kg-CO2/kWhを使用しています。

※2：化学物質の使用はありません。

※3：車両燃料使用量削減については、輸送距離により変動が大きいため燃費にてしています。

※4：過去3カ年（2021年度～2023年度）実績平均値を基準として再設定しました。

取組項目	基準値	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率	評価*	
<b>1 CO2排出量削減</b>	t - CO2	1,542	1,534	<b>1,537</b>	99.8%	△
車両燃料 使用量の削減 (効率化)	大型ダンプ	2.72	2.72以上	<b>2.85</b>	104.8%	○
	大型冷蔵車	3.71	3.71以上	<b>3.65</b>	98.4%	△
	2tダンプ バックホー車	6.05	6.05以上	<b>5.67</b>	93.7%	△
電力使用量削減	kWh	20,770	20,666	<b>20,373</b>	101.4%	○
<b>2 廃棄物再資源化率向上</b>	%	再資源化率 96.5%以上	再資源化率 96.5%以上	<b>94.5%</b>	97.9%	△
<b>3 水使用量の削減</b>	m <sup>3</sup>	586未満	586未満	<b>514</b>	114.0%	○
<b>4 環境に配慮した工事の採用と運行管理                      受託した廃棄物の収集運搬業における                      環境に配慮した取組の推進</b>	環境に配慮した工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音・排ガス対策型建設機械の使用はできた。</li> <li>・低排出ガス車の使用はできた。</li> <li>・リサイクル製品の販売はできた。</li> <li>・散水により土埃を抑制できた。</li> <li>・工事の近隣住人への告知により苦情等はなかった。</li> </ul>				○
	環境負荷の少ない運行管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両整備は、確実にできた。</li> <li>・エコドライブの徹底（運転適性診断と考察）できた。</li> <li>・運行ルートの効率化できた。</li> </ul>				○
	受託廃棄物収集運搬時における環境に配慮した取組推進					○
<b>5 地域貢献活動</b>	地域貢献活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川・港湾の清掃は実施できた。</li> <li>・一廃回収区域のごみ3ヶ所整理整頓は実施できた。</li> <li>・地域安全まちづくり活動実施できた。</li> <li>・環境キャンペーン活動は実施できた。</li> <li>・交通安全パトロール活動実施できた。</li> </ul>				○
	環境負荷への予防措置					○

\* ○：達成率120%以上    ○：達成率100%以上120%未満    △：達成率70%以上100%未満    ×：達成率70%未満

# 環境経営計画(次年度含む)及び環境負荷の推移

環境負荷の推移		活動項目と評価・結果・次年度の取組																				
CO <sub>2</sub> 排出量及び軽油使用量	<p>■ 軽油使用量 (kℓ)    ● CO2排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>軽油使用量 (kℓ)</th><th>CO2排出量 (t-CO<sub>2</sub>)</th></tr> <tr><td>2021</td><td>554</td><td>1,473</td></tr> <tr><td>2022</td><td>1,680</td><td>641</td></tr> <tr><td>2023</td><td>558</td><td>1,464</td></tr> <tr><td>2024</td><td>587</td><td>1,537</td></tr> </table>	年	軽油使用量 (kℓ)	CO2排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	2021	554	1,473	2022	1,680	641	2023	558	1,464	2024	587	1,537	<p><b>活動項目と評価*</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブ管理システムでの指導。：◎</li> <li>・車両、重機の自主点検整備の徹底。：◎</li> <li>・効率的な人員の配置と運行ルート。：◎</li> <li>・エコタイヤの使用。：◎</li> </ul>					
	年	軽油使用量 (kℓ)	CO2排出量 (t-CO <sub>2</sub> )																			
	2021	554	1,473																			
2022	1,680	641																				
2023	558	1,464																				
2024	587	1,537																				
<p><b>結果</b></p> <p>◎ CO<sub>2</sub>排出削減目標達成 ◎ 活動項目は、計画通り実施出来ている。</p>	<p><b>次年度の取組</b></p> <p><b>CO<sub>2</sub>排出量</b> 基準値(過去3カ年平均)から1.0%削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転適性診断を活用した個別指導を継続。</li> <li>・車両重機メンテナンスの徹底と管理。</li> <li>・低排出ガス車の導入。</li> <li>・暖房器具(灯油、ガス)の火力を最大にしない。</li> </ul>																					
軽油以外の化石燃料使用量	<p>(ℓ)    (kg)</p> <p>■ ガソリンℓ    ■ 灯油ℓ    ■ プロパンガスkg</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>ガソリンℓ</th><th>灯油ℓ</th><th>プロパンガスkg</th></tr> <tr><td>2021</td><td>6,297</td><td>1,061</td><td>31</td></tr> <tr><td>2022</td><td>7,279</td><td>953</td><td>25</td></tr> <tr><td>2023</td><td>6,729</td><td>1,022</td><td>0</td></tr> <tr><td>2024</td><td>6,132</td><td>196</td><td>0</td></tr> </table>	年	ガソリンℓ	灯油ℓ	プロパンガスkg	2021	6,297	1,061	31	2022	7,279	953	25	2023	6,729	1,022	0	2024	6,132	196	0	<p>ガソリン 99% 電気 0.5% 灯油 0.1%</p>
	年	ガソリンℓ	灯油ℓ	プロパンガスkg																		
	2021	6,297	1,061	31																		
2022	7,279	953	25																			
2023	6,729	1,022	0																			
2024	6,132	196	0																			
<p><b>結果</b></p> <p>使用エネルギーの99%が軽油です。 車両燃費効率化を重大目標に活動 ○ 燃費目標 一部未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木部(10tダンプ) 目標2.72→結果 <b>2.85km/L</b></li> <li>・運輸部(15t冷凍車) 目標3.71→結果 <b>3.65km/L</b> 未達理由: 荷待ち時間等増による</li> <li>・環境部(パッカー他) 目標6.05→結果 <b>5.67km/L</b> 未達理由: 収集時の発進・停止の繰り返しによる</li> </ul>	<p><b>活動項目と評価*</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンは、暖房20度・冷房27度で設定。：○</li> <li>・LED照明の導入。：◎</li> <li>・不要なエアコンや照明のオフを徹底する。：◎</li> <li>・未使用の電気器具は、コンセントを抜く。：◎</li> <li>・PC、コピー機は省エネモードに設定。：◎</li> </ul>																					
車両別燃費	<p><b>部門別車両燃費 (km/ℓ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2t ダンプ・パッカー車</li> <li>■ 15t 冷凍車</li> <li>■ 10t ダンプ車</li> </ul> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>2t ダンプ・パッカー車</th><th>15t 冷凍車</th><th>10t ダンプ車</th></tr> <tr><td>2021</td><td>5.86</td><td>3.51</td><td>2.70</td></tr> <tr><td>2022</td><td>5.79</td><td>3.42</td><td>2.76</td></tr> <tr><td>2023</td><td>5.90</td><td>4.14</td><td>2.71</td></tr> <tr><td>2024</td><td>5.67</td><td>3.65</td><td>2.85</td></tr> </table>	年	2t ダンプ・パッカー車	15t 冷凍車	10t ダンプ車	2021	5.86	3.51	2.70	2022	5.79	3.42	2.76	2023	5.90	4.14	2.71	2024	5.67	3.65	2.85	<p><b>結果</b></p> <p>◎ 電気使用量目標達成 ◎ 活動項目は、概ね計画通り実施出来ている。</p>
年	2t ダンプ・パッカー車	15t 冷凍車	10t ダンプ車																			
2021	5.86	3.51	2.70																			
2022	5.79	3.42	2.76																			
2023	5.90	4.14	2.71																			
2024	5.67	3.65	2.85																			
電力使用量	<p><b>電気使用量 (kWh)</b></p> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>電気使用量 (kWh)</th></tr> <tr><td>2021</td><td>22,088</td></tr> <tr><td>2022</td><td>20,271</td></tr> <tr><td>2023</td><td>19,952</td></tr> <tr><td>2024</td><td>20,373</td></tr> </table>	年	電気使用量 (kWh)	2021	22,088	2022	20,271	2023	19,952	2024	20,373	<p><b>次年度の取組</b></p> <p><b>電力使用量</b> 基準値(過去3カ年平均)から1.0%削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調の適温化。</li> <li>・照明の間引き。</li> <li>・日中は自然光の活用。</li> </ul>										
年	電気使用量 (kWh)																					
2021	22,088																					
2022	20,271																					
2023	19,952																					
2024	20,373																					

\* ◎：よく出来た    ○：概ね出来た    △：あまり出来なかった    ×：全くできなかった

環境負荷の推移		活動項目と評価・結果・次年度の取組															
上水使用量	<p>水使用量 (m<sup>3</sup>)</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>使用量 (m<sup>3</sup>)</th><td>625</td><td>586</td><td>547</td><td>514</td></tr> </table>	年	2021	2022	2023	2024	使用量 (m <sup>3</sup> )	625	586	547	514	<p>活動項目と評価*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蛇口に「節水」表示をする。：◎</li> <li>水を出しっぱなしにしない。：◎</li> <li>洗車は、洗剤を使いすぎない。：◎</li> <li>シャワーノズルの開閉をこまめにする。：◎</li> </ul>					
	年	2021	2022	2023	2024												
	使用量 (m <sup>3</sup> )	625	586	547	514												
結果	◎水使用量目標達成 72m <sup>3</sup> 削減 ◎活動項目は、計画通り実施出来ている。																
次年度の取組	水使用量(過去3カ年平均) 基準値586m <sup>3</sup> 以下 感染防止対策として、手洗いを励行しており 必要以上の削減はしない。																
一般廃棄物	<p>排出量 t    リサイクル率 %</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>排出量 (t)</th><td>1.86</td><td>1.73</td><td>1.73</td><td>1.71</td></tr> <tr><th>リサイクル率 (%)</th><td>3.3</td><td>3.2</td><td>3.2</td><td>4.1</td></tr> </table> <p>数値目標は設定していません。</p>	年	2021	2022	2023	2024	排出量 (t)	1.86	1.73	1.73	1.71	リサイクル率 (%)	3.3	3.2	3.2	4.1	<p>活動項目と評価*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書類を電子データで送る。：◎</li> <li>トナーカートリッジの回収と再利用。：◎</li> <li>ごみの分別とリサイクルを推進。：◎</li> <li>両面印刷、裏紙の利用。：◎</li> <li>書類や設定を確認し、ミスコピーを減らす。：◎</li> </ul>
	年	2021	2022	2023	2024												
	排出量 (t)	1.86	1.73	1.73	1.71												
リサイクル率 (%)	3.3	3.2	3.2	4.1													
結果・取組	出来るだけPCデータに保存できている。 ミスコピーは、少なくなっている。																
	・継続して分別とリサイクルに取り組む。																
産業廃棄物(工事現場)	<p>排出量 t    リサイクル率 %</p> <table border="1"> <tr><th>年</th><td>2021</td><td>2022</td><td>2023</td><td>2024</td></tr> <tr><th>排出量 (t)</th><td>11,077</td><td>5,148</td><td>2,844</td><td>2,315</td></tr> <tr><th>リサイクル率 (%)</th><td>97.0</td><td>98.9</td><td>93.0</td><td>94.5</td></tr> </table>	年	2021	2022	2023	2024	排出量 (t)	11,077	5,148	2,844	2,315	リサイクル率 (%)	97.0	98.9	93.0	94.5	<p>活動項目と評価*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産廃処理委託契約書に基づき、適切に処理。：◎</li> <li>manifestの管理を徹底する。：◎</li> <li>現場での分別を徹底、廃棄物を混合しない。：◎</li> <li>機械、備品は、適切な取り扱いやメンテナンスを行い unnecessary 消耗や破損を防止する。：◎</li> </ul>
	年	2021	2022	2023	2024												
	排出量 (t)	11,077	5,148	2,844	2,315												
リサイクル率 (%)	97.0	98.9	93.0	94.5													
結果	◎建設廃材リサイクル率目標96.5%以上→結果 <b>94.5%</b> 未達理由：元請解体工事による再資源化不可物の排出増による ◎活動項目は、計画通り実施出来ている。																
次年度の取組	リサイクル率96.5%以上 ・工事現場内で分別の徹底。 ・委託契約書、manifestによる適正処理の確認。																

\* ◎：よく出来た    ○：概ね出来た    △：あまり出来なかった    ×：全くできなかった

環境活動の取組状況		活動項目と評価・次年度の取組	
環境配慮	低騒音・排ガス対策型建設機械	運転技能を客観的に可視化	<p>環境に配慮した工事と運行管理</p> <p>活動項目と評価*</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 低騒音・排ガス対策型建設機械の使用：◎</li> <li>2 低排出ガス車の使用：◎</li> <li>3 解体工事の近隣への告知：◎</li> <li>4 運行ルート効率化：◎</li> <li>5 運転適性診断の実施と考察：◎</li> <li>6 散水による土埃の抑制：◎</li> </ol>
			
地域貢献・環境負荷の予防	河川敷の清掃活動	小学校へ冷凍庫2台寄贈	<p>地域貢献活動推進・環境コミュニケーション</p> <p>活動項目と評価*</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 レポートを行政やお客様への営業ツールとして活用。：◎</li> <li>2 一廃地域のゴミステーションを整理、整頓。：◎</li> <li>3 河川・港湾の清掃活動。：◎</li> <li>4 地元小学校での交通安全教室の実施。：◎</li> <li>5 環境キャンペーン活動（チラシやエコバック配布）：◎</li> <li>6 交通安全パトロール活動：◎</li> </ol>
	# U N K N O W N !		
課題とチャンスの明確化	採用活動の推進と多能工の育成		災害時の物資輸送等に関する協定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HPに採用情報を掲載</li> <li>• 技能実習生採用、育成</li> <li>• 技能講習の受講、資格取得計画の推進</li> </ul>		<p>兵庫県トラック協会（当社加盟）と淡路島内の3市が、物資の緊急輸送に関する協定を締結しました。 災害が発生した際、各市の要請を受けて同協会が緊急物資の運搬や荷下ろし等に必要なトラックやフォークリフト等の車両や資器材の提供と人員の派遣をします。 大規模災害発生時、当社が貯蔵している軽油を緊急車両に優先的に提供します。</p>
感染防止対策	体温測定	アルコール消毒液設置	
			

\* ◎：よく出来た    ○：概ね出来た    △：あまり出来なかった    ×：全くできなかった

## 環境関連法規等の遵守

### 1 法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項遵守状況の結果

遵守評価日：2025年10月2日

適用される法規制等	適用を受ける内容	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物収集運搬業の許可（兵庫県・徳島県）</li> <li>排出事業者との委託契約書及びマニフェスト伝票発行と5年間保管</li> <li>一般廃棄物収集運搬業許可（南あわじ市）</li> </ul>	○ ○ ○
建設工事資材再資源化法	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別解体で発生した特定建設資材廃棄物の再資源化</li> <li>解体工事業の届出（兵庫県建設業許可）</li> <li>特定工作物解体工事の実施の届出（兵庫県）</li> </ul>	○ ○ ○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定建設作業開始の7日前までに市長への届出</li> </ul>	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定建設作業開始の7日前までに市長への届出</li> </ul>	○
自動車排出NOx・PM法	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に必要な措置を講じる</li> </ul>	○
大気汚染防止法	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体等工事に係る調査及び説明等</li> <li>特定粉じん排出作業の実施の届出、結果の報告</li> </ul>	○ ○
石綿障害予防規則	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体等作業を行うときは、石綿等使用の有無を事前調査しなければならない</li> <li>石綿使用の有無に関わらず事前調査の結果を電子システムで報告</li> </ul>	○ ○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な浄化槽の保守点検及び清掃の実施</li> <li>毎年1回、指定検査機関が行う水質に関する定期検査の受検</li> </ul>	○ ○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険物の流出その他の事故が発生した場合は、直ちに流出及び拡散の防止、除去その他の災害発生の防止の為に緊急の措置を講じる。 直ちに消防署、市の指定した場所、警察に通報しなければならない。</li> </ul>	○
オフロード法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基準適合表示が付された特定特殊自動車の使用</li> </ul>	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷蔵冷凍ユニット、業務用エアコン（第一種特定商品）は、法に基づく簡易点検、定期点検、漏えい量報告等の対象となる。</li> <li>特定解体工事（元請）の発注者に対し第一種特定製品の有無の確認結果を書面交付・説明</li> </ul>	○ ○
兵庫県環境の保全と創造に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定建設作業開始の7日前までに市長への届出</li> </ul>	○
南あわじ市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>収運量実績報告書を南あわじ市に提出（年4回）</li> </ul>	○

当社に適用される環境関連法規制、その他の要求事項は、「法規制等登録・遵守評価表」に登録し遵守状況の評価を行い、違反があった場合は是正することになっています。

- （1）環境法規制等の遵守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
- （2）過去、関係機関等から環境関連法規制について指導、指摘はありませんでした。  
また、訴訟等もありませんでした。

### 2 苦情を含む外部からの利害関係者のコミュニケーション

外部からの苦情及び要望はありませんでした。

## 代表者による全体評価と見直し・指示

見直しのための情報	確認・指示内容/変更の必要性
<p>[環境経営方針・環境経営目標]</p> <p>当社の取組をSDGsとの紐づけをすることで、社会貢献の意識を高める。</p>	<p>[環境経営方針・環境経営目標]</p> <p>(変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 )</p> <p>環境経営方針は、継続する。 環境経営目標(中期目標)は、継続する。</p>
<p>[環境経営計画の取組み状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量削減目標を1,534(t-CO2)と設定し、結果1,537(t-CO2)となり目標より3(t-CO2)増で僅かに未達成であった。</li> <li>・工事部の車両は年間燃費目標を達成。</li> <li>・運輸部、環境部の年間燃費目標は未達成。</li> <li>・電気使用量は、目標を 20,666kWhと設定し、結果20,373kWhと目標を達成した。</li> <li>・年間の水道使用量は、目標を586m<sup>3</sup>と設定し、結果514m<sup>3</sup>と目標を達成した。</li> <li>・産業廃棄物の再資源化率の結果は、94.5%で僅かに未達成。</li> <li>・環境に配慮した工事の実施及び環境負荷の少ない運行管理に関しても適切に行われていた。</li> <li>・地域貢献活動の実績 公共施設の清掃活動、交通安全パトロール</li> <li>・採用活動の推進・多能工の育成 技能講習、資格取得は、概ね計画通りに実施できた。</li> </ul>	<p>[環境経営計画]</p> <p>運行管理システムの活用によりエコドライブを促進し、CO2排出量削減に取り組む。</p> <p>継続的な環境教育の実施とエコドライブの励行を推進する。</p> <p>(変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 )</p>
<p>[法律等の改定、遵守状況]</p> <p>法規制等遵守状況のチェックの結果、環境関連法規への違反はありません。また、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟はありませんでした。</p> <p>[実施体制]</p> <p>現行の実施体制で順調に実施できている。</p>	<p>[遵守状況の確認]</p> <p>法規制の改正、取引会社からの遵守事項を社員及び協力会社へ徹底させる事。</p> <p>[実施体制]</p> <p>(変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 )</p>
<p>[報告年月日] 2025年 10月 20日</p> <p>[環境管理責任者] 運輸部長</p>	<p>[見直し年月日] 2025年 10月 21日</p> <p>代表取締役 松井章博</p>

当社は、多業種（建設業・運送業・廃棄物収集運搬業・建築資材販売業）に渡る事業を行っています。2008年よりエコアクション21の認定を受けてまいりましたが、環境経営に対する社会からの要請も高まっており、取引先等のご協力もいただくことにより、当社が持続可能な地域の発展に寄与できる企業になれるよう努めていきたいと思っております。

原材料やエネルギー価格の高騰、気候変動など厳しい経営環境が続いておりますが、社員と一丸となって課題解決に向け取組を行って参ります。

最後までお読み頂きありがとうございました。

次回レポートの発行予定：2026年 11月